

個別支援学級（わかば級・のぞみ級・みんなの教室）生活単元学習の実践

1 単元名 「お楽しみ会をしよう」（生活単元12時間）

2 単元目標

単元のねらい

- お楽しみ会で、どんな活動をしたいか自分の考えをもつことができる。
- 友達と話し合う活動の中で、自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりすることができる。
- みんなで楽しむという目標に向かって話し合ったり、協力したりして活動することができる。

3 「ひびきあう三の丸の子どもたち」をめざすための指導の工夫

研究課題・・・子どもが解決したい問題を持ち、友だちとひびき合いながら学習する子どもの育成
手立て・・・子どもの思いや願いの育ちを見とった単元構想と授業づくり

個別支援学級ブロックテーマ

「感じる心、気持ちを伝える自分」

【個別支援学級（個学）の子どもたち】

個学はわかば級6名、のぞみ級4名、みんなの教室5名、合計15名の児童が在籍する。学年や生活経験、発達段階が大きく異なるため、普段は個別の学習が中心となっているが、同じ場でできるだけ共に学ぶ交流学習を積極的に行い、日頃から交流学級の学習に参加している児童も多い。交流の内容や方法、時数は個々の実態やニーズ、交流の目的に合わせて決めている。そして、一人ひとり個別の時間割を組んで、個学での個別の学習や交流の学習を行っている。

また、個学では子どもと話し合いながら年間で取り組む生活単元学習の内容を毎年決めており、今年度も野菜作りやお楽しみ会などの単元を計画・実行している。子どもたちはこの活動が好きであり、個学の友だちと一緒に楽しみながら取り組んでいる。普段、交流学級では、中々積極的に意見を言えない子も、個学の話し合いでは進んで発言したり、上級生が下級生に優しくする場面が見られたりして、貴重な学習の場となっている。

今年度は、コロナの状況により、特に前期は活動に制限があり、児童の思いを全て受け止めて活動を設定することが出来なかったため、前期は教師から提案する形での生活単元学習を行った。「野菜を育てよう」では、どの野菜を育ててみたいか、自分で育てる野菜を選択する活動を取り入れたことで、児童が自分の思いをもって活動することができた。また、全員で育てたサツマイモの収穫後は、「調理しないでみんなで楽しもう」という、めあてに向けてサツマイモのつるを使ったリースづくりや、芋スタンプ遊びを考えた。どの活動も友達と一緒にやったことで、友達の作品を参考にして作ったり、友達の作品を見て良いところを見つけたりすることができた。7月には学校再開後、コロナ禍の新しい生活でよく頑張った子どもたちにお楽しみ会を提案し、実施した。それを経験に、後期は個学でどんなことを行うか話し合って活動を進めている。

【聴く・話すについての指導】

朝の会や帰りの会等、日頃から聴く・話す場面を多く設定し、聴く力、話す力を身につける指導を行っている。聴く力を身につける指導として、のぞみ級では、聞き取りのワークシートを用いた学習を行っている。話している人がいるときは静かにして、質問があるときは、手を上げ、思いつきで話し始めないようにする指導を行っている。わかば級では、聴くときの姿勢を意識して話を聴けるように指導している。また、国語や自立活動の時間で、語彙を増やしたり言葉遣いを学んだりしている。個別支援学級での「聞く・話す」の約束を以下のように定め、活動の中で意識するようにしている。

〔聴く時の約束〕発言は手を挙げてから言う。体を話し手にむけて、話し手を見る。

〔話す時の約束〕目：聞き手の方を見る。姿勢：きちんと立って。口：みんなに聞こえる声で。

【個学の中での関わり合い・ひびきあい】

3クラスが集まり、総勢 15 名。それぞれのクラスの子どもたちの様子はそれぞれ違うが、一緒に学ぶ中で交流が生まれ、お互いを「仲間・友達」として意識しているため、休み時間に誘い合って遊ぶ姿も見られる。交流での学習が多い児童もいて、朝の会・生活単元学習・総合的な学習・外国語などで一緒に学習活動の時間を設定しても、全員が揃うことは難しい現状である。しかし、子どもたちの一緒にやってみたいという気持ちを大切にすることで、豊かな関わりができ、思いがひびき合うのではないかと考えている。また、その中で互いの良さを認め合い、関わり合うことを学んでほしいと考える。みんなが楽しむことができるお楽しみ会の内容とは何だろう、そのためにはどんなことが必要か、一人ひとりが考えを持ち、伝え、解決するために友だちの意見を聞いて再び考える姿をひびき合いの姿としたい。自分の気持ちを伝える事が難しい児童は、友達の出した意見の中から自分がやってみたいものを選ぶことで、自分の考えを伝える活動としたい。

4 単元と指導について

【単元について】

本単元は、児童の実態に応じて設定している。これまでに、お楽しみ会やお別れ遠足などを経験したことをもとに、「後期は生活単元の学習で何をしようか？」という児童主体の話し合いからスタートし、決まった活動に向けて計画を立て、準備をし、実施、ふりかえりをするという一連の流れを経験させたいねらいがある。個学の学習では、一人ひとりのニーズに合わせた個別学習や、教師から示された活動を行う学習がどうしても多くなりがちである。生活単元学習は、児童の思いや願いを主として単元づくりを行うことに適しており、友達との関わり合い、ひびき合いの場面が生まれやすいと考え、この単元を設定した。

さらに、本単元では、他教科との合科的な学習となる。話し合いでは、国語の「話す・聞く力」を高め、お楽しみ会の活動内容では、音楽や図工の活動も取り入れることで様々な力を伸ばせるようにしたい。

本単元を通して、友達と話し合って活動内容を考えたり、協力して準備したりすることで友達を意識することができる学習となるようにしていきたい。

【指導について】

後期は、「お楽しみ会」や「お別れ遠足」をしたいという児童の思いをもとに、そのために必要なことを考えたり決めたりしていかなければいけないことに気づかせ、自分たちで計画し作り上げていく活動になるようにしたい。まずは、一人ひとりが「～したい。」や「やってみたい。」という思いを持てるようにする。そのためには、過去の経験を思い出させたり、友達の考えを聞いて共感したり、実際に出了たゲームをやってみたりすることができるようにする。低学年の児童は、言葉だけでは理解することが難しい子もいるので、イラスト等も使って視覚的に提示し、話し合いの内容を少しでも理解できるようにしていきたい。準備、計画などの活動の中では、友達とかかわり合う姿を目指し、一緒に話し合う、一緒につくる、一緒に遊ぶなど自然とかかわり合えるように計画していく。それぞれの児童の活躍の場面をつくり、経験のある高学年の子を中心に、「どんな内容にしたらみんなが楽しめるか」を考えながら内容を決めていけるようにする。自分のやりたいことが中心になる子も多いと考えられるので、「みんなで」をキーワードに助言しながら活動を進めていきたい。

単元のねらい

- お楽しみ会で、どんな活動をしたいか自分の考えをもつことができる。
- 友達と話し合う活動の中で、自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりすることができる。
- みんなで楽しむという目標に向かって話し合ったり、協力したりして活動することができる。

後期の生活単元はどんなことをしようかな？①

- ・卒業する前にお別れ遠足に行きたいな。3月頃がいいかな。 ・何か作って食べたいよ。
- ・パーティーがしたい。 ・7月にお楽しみ会をやったね。次は違うことをしようよ。
- ・冬休みの前にお楽しみ会をしたいな。

今年は、コロナの状況から学校での調理はできないことを伝えながら、できる範囲で活動していくことを伝える。

お楽しみ会への興味・関心を持ち、話し合いに参加することができる。

12月にみんなで楽しみ会をしよう！

お楽しみ会でどんなことをしていくか話し合おう②本時

話し合ったことが積み重なるように、児童の考えを記録していく。(模造紙)

<1段階>
イラストなどを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。

<2段階>
簡単な語句から事柄を思い浮かべ、自分の気持ちについて考えたり、伝えたりすることができる。

<3段階>
相手の話に関心を持ち、自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりすることができる。

- ・歌をうたうのがいいと思う。・食べることは、今年ではできないよ。
- ・飾りがあると楽しくなるね。・みんなで楽しく遊びたいな。
- ・7月のお楽しみ会楽しかったね。・プレゼントをもらえたら嬉しいな。
- ・クリスマスに近いか、プレゼントをあげたいな。
- ・たくさんあるから、計画するグループを作ったほうがいいね。

グループをつくろう！

グループ作りでは、高学年が分かれ、話し合えるようにする。

歌を歌う みんなで遊ぶ 飾りを作る プレゼント交換

グループごとに計画しよう！③

・みんなが知っている歌にしよう。
・クリスマスの歌も入れよう。
・2曲歌おう。

・みんながやりたい遊びにしよう。
・7月とは違う遊びにしよう。
・1年生でもできる遊びにしよう。

・この前作ったリースを飾ろうよ。
・輪飾りを作りたいな。

・手作りのものを交換しよう。
・アイロンビーズはどうか。
・紙粘土もいいと思う。
・全員1つずつ作ろうか。

みんなに伝えるときには、できる子は理由も一緒に言えるようにする。

決まったことみんなに伝えて、必要なものをみんなで考えよう！④

自分だけでなく他のみんなのことを考えて計画できるようにする。

様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとすることができる。

歌

- ・2曲歌います。
- ・この2曲でいいですか？

遊び

- ・外で、〇〇おにをやめるのはどうですか？
- ・教室では、クリスマスバスケットをしたいと思います。

飾り

- ・秋に作ったリースを飾りましょう。
- ・輪飾りと、クリスマスの飾りは、みんなで作りましょう。

プレゼント

- ・アイロンビーズか、紙粘土で作るのはどうですか？
- ・あげる人は、くじ引きで決めよう。



みんなで協力して、準備をしよう。 生活単元③図工②音楽①

生活単元

- ① グループごとに準備するものを確認しよう。
- ② プレゼント作りをしよう。
- ③ プログラムや役割分担を決めよう。

音楽（朝の会）

- ① クリスマスの歌を練習しよう。
- ② 手拍子の練習をしよう。

図工

- ① クリスマスの飾りを作ろう。
- ② 輪飾りを作ろう。

- ・どんなプレゼントを作ると喜んでくれるかな。・歌は覚えられるように毎日練習したいね。・この前作ったリースを飾ろうよ！
- ・〇〇遊びのルールを決めないだね！ ・プログラムを書く人を決めよう。
- ・司会や、はじめの言葉、おわりの言葉の担当を決めよう。 ・ツリーを作れないかな。小さいツリーなら作れるかな。

＜1段階＞

自分の役割に関心を持ち、教師と一緒に取り組もうとすることができる。

＜2段階＞

自分の役割について理解し、教師の援助を求めながら、進んで取り組むことができる。

＜3段階＞

自分の役割を果たすための知識や技能を身に付け、自ら進んで取り組むことができる。

みんなで、協力して楽しいお楽しみ会をしよう⑪⑫

- ・みんなでお楽しみ会ができて楽しかったね。・また、みんなでやりたいね！
- ・プレゼントをもらえてうれしかったな。・クリスマスも楽しめてよかったね。
- ・次は、お別れ遠足が楽しみだな。

6 本時について

(1) 本時の目標

自分なりの考えをもち、伝えたり、友だちの話を聞いたりすることができる。

(2) 個別の目標

(3) 本時の展開

学習活動	主な支援・留意点・【評価】
生活単元学習 12月にみんなでお楽しみ会をしよう どんなことをしよう？ 1. みんなではなしあおう 2. きょうのやってみよう 3. ふりかえり うたがうたいたい 絵 みんなであそびたい 絵 かざりをつくりたい 絵 プレゼントこうかんしたい 絵	・前時までの学習をふりかえり、本時で話し合うテーマを確認する。 ・見通しを持ちやすいよう、視覚支援教材とともに、本時の流れを提示する。 ・やってみたいことを表す絵(写真)カードと顔写真カードを用意し、友だちの考えや、話し合いの内容を捉えることができるようにする。 ・話し合った事が積み重なるように、児童の考えを記録する。 ・できる子は理由も一緒に言えるようにする。 ・グループ作りでは高学年が分かれ、話し合えるようにする。 ・学習をふりかえりは、やることのグループ分けを確認しながら話し合いの結果を全員で共有し、次回から準備の活動をしていくことを確認する。 【評価】 別紙参照

7 実践を終えて

成果

- ・児童の「お楽しみ会をやりたい」という思いから単元をスタートし、お楽しみ会を作り上げていく過程で、児童の「～したい」という思いを引き出しながら単元のゴールへと進めることができた。児童の解決したい問題となっていた。
- ・絵カードと顔写真カードを使ったことで、どの児童も自分が何をやりたいのか意思表示することができた。
- ・3クラス合同で話し合ったことにより、様々な考えが出た。お楽しみ会にやりたい内容が広がった。(ひびき合いの成果)

課題

- ・話し合いのルールを明確にすると良かった。友達の見解に対して、否定的な発言が出ないようにしたい。友達の見解に対して「やだ」と言わず、「いいね!」「うんうん」などの反応を多く出せるようにする。(「聞き方の指導」)
- ・小集団での話し合いに慣れていない子が多く、スムーズに進まない場面もあったので、年間を通して話し合いの機会を設け、繰り返し行うことで慣れていくようにしたい。
- ・お楽しみ会のイメージが持てず、話し合いが進まない場面もあった。昨年までのお楽しみ会を思い出し、それを手がかりに考えを持てるよう、写真を撮っておき、それを見ながら覚えている子が話すなど、工夫できると良い。また、時間はどのくらいあるのか、いくつくらいの活動ができるのか等を伝えておくこともイメージを持つための手がかりとなるため、伝えておけると良かった。話し合うためには、その内容に対してきちんとイメージをもっていることが大事である。
- ・話し合いに進んで参加することが難しい子もいるため、個々の思いやつぶやきを教師が拾って話し合いにつなげていけるようサポートしていきたい。